令和7年 摩耶保育園

朝夕は冷えこみ、ますます乾燥する季節になってきました。インフルエンザやノロウイルスなど冬に多い 感染症が流行する季節になってきました。手洗い、うがいをして、規則正しい生活をおくるよう心がけましょう。

≪町の健診・相談予定≫

お子さんにとって大事な健診や相談です。 ご都合をつけて参加してください。

1歳6か月健診

11月5日(水)

R6年4月生 13:00~13:30

2歳6か月児相談

11月19日(水)

R5年3月·4月生9:00~9:30

3歳児健診

11月5日(水)

R4年9月·10月生13:30~14:00

☆保健福祉センター2階の健診室で行われます。森町こども保健ガイドにて内容、持ち物等確認してお出かけ下さい。

インフルエンザかも?と思ったら



急に高い熱が出て、ぐったりして元気がないときは、普通の風邪ではなく、インフルエンザかもしれません。インフルエンザは感染力が強く、子どもたちの間で流行しやすいため、登園できない期間(登園停止期間)と、登園できる目安が決められています。

① 受診しましょう

発症直後では正しい結果が出ないことがあります。お医者さんには「いつからどんな症状が出たか」「身近にいないか」なども詳しく伝えましょう。

② しっかり治しましょう

抗インフルエンザ薬は、ウィルスを増えるのを防ぎますが、ウィルスをやっつけることはできません。症状が治まり元気になるまでしっかり休みましょう。

《登園の目安》

幼児は「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過するまで」と学校保健安全法で定められています。

要注意 感染性胃腸炎

10月中旬~0,1歳児クラスで下痢症状が続いた子が多くその後、嘔吐、発熱をする子が見られました。

感染症胃腸炎は、様々な細菌やウィルスなどが原因で起こる感染症です。ウィルス性胃腸炎は、ウィルスが感染して起こる急性の胃腸炎で、「おなかの風邪」と言われることもあります。

感染拡大の最大の防止策は、手洗いです。丁寧に手 洗いを行い、予防に努めましょう。

感染性胃腸炎に感染したら、嘔吐・下痢などの症状が治まり、普段の食事が摂れるようになるまでは登園を控え、体調を整えましょう。

※脱水に気をつけましょう。

風邪をひかないためには?

『3つの保』で風邪を防ぎましょう。

①体を『保温』する。

身体を冷やすと風邪をひきやすくなります。ただし、厚着をして汗をかくと身体が冷えて逆効果。薄手の服を重ね着するほうが、中に空気の層ができて保温効果が高まります。こまめな調節が大切です。

②室内を『保湿』する

空気が乾燥すると鼻や喉の粘膜がダメージを受けますし、ウィルスが浮遊しやすくなります。加湿器を使ったり、室内に洗濯物を干したりして乾燥を防ぎましょう。

③体を『保護』する

よく寝て、栄養バランスのとれた食事 を摂るように気を配り健康を守りましょ う。